

## 第17回 鎌倉市本庁舎等整備委員会 会議要旨

### 1 開催日時

令和6年（2024年）3月13日（水）10時00分から10時30分まで

### 2 開催場所

鎌倉商工会議所会館 301 会議室

### 3 出席者等

#### 【委員】

国吉委員長  
川口副委員長  
関根委員（欠席）  
増井委員  
酒井委員  
小野田委員  
西野委員  
望月委員  
森安委員  
渡辺委員

#### 【事務局】

林部長（まちづくり計画部）  
渡辺次長（同部次長兼市街地整備課担当課長）  
石塚担当課長（同部市街地整備課）  
中山課長補佐（同課）  
江川担当係長（同課庁舎整備担当）  
若木主事（同担当）  
海老澤主事（同担当）  
太田主事（同担当）  
西村主事（同担当）

#### 【事務局（関係職員）】

吉田次長（共生共創部次長兼行政マネジメント課長）  
上林担当課長（総務部公的不動産活用課）  
瀧澤次長（市民防災部次長兼地域のつながり課長）  
末次次長（同部次長兼総合防災課担当課長）  
柳町課長（同部市民課）  
中島課長（教育文化財部生涯学習課）  
渡邊担当係長（教育文化財部中央図書館）

#### 【事務局（業務協力者）】

山崎、藤原（株式会社日本総合研究所）

#### 【傍聴者】

6名

#### 4 次第

- (1) 開会
- (2) 鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画策定に向けて
  - ア 鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画（素案）に対する意見公募の結果等について
  - イ 鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画（案）の答申について
- (3) その他
- (4) 閉会

#### 5 開会

国吉委員長 ただいまから第17回鎌倉市本庁舎等整備委員会を開会する。本日は、令和5年4月24日付けでの鎌倉市長からの諮問に対し、当委員会の意見を整理し、答申を取りまとめる回となるため、協力をお願いしたい。

初めに、委員の出席状況について、事務局から報告・説明する。

事務局 委員の出席状況については、全10名の委員のうち9名の委員に出席いただいている。よって、本委員会条例施行規則第3条第2項の規定のとおり、委員の過半数の出席により、本委員会が成立していることを報告する。

国吉委員長 では、議題について議論、審議していきたい。

#### 6 議題

- (1) 鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画（素案）に対する意見公募の結果等について

国吉委員長 今回の議題（1）「鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画（素案）に対する意見公募の結果等」について、事務局から説明をお願いする。

事務局 【鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画（素案）に対する意見公募の結果等について説明】

国吉委員長 ただいまの説明について質問等があれば伺いたい。

川口副委員長 生涯学習センターのホールに専門家の知見を入れると説明があったが、パブリックコメントを拝見すると、本格的な音楽ホールを望む声が多く、3階建ての要望が出ている。また、風致地区の規制を建築審査会等で許可を得る形で突破できるのではないかという意見もある。この点については286席と同程度の機能的なホールが望まれる一方で、高さについては市のフラッグシップ的な公共施設とする場合に、風致地区の制限を超えていいのか、3階建てにすべきか疑問である。どのような形でホールを整備するかは、今後のプランで変わる可能性はあるが、可動型にすることにより様々な活用ができ、固定化されないメリットもある。一方で、今後の技術進化によって一定程度の音響効果も確保した上で、2階建てでも機能する可能性はある。その点の考えについて伺いたい。

事務局 おっしゃるとおり、ホールについての意見が非常に多い。形状は平土間とし、規模は生涯学習センターと同程度を想定している。平土間に椅子を並べる

だけではなく、可動式の客席を設けたい。現時点では風致地区の規制で一定程度の限度があり、その範囲で音響の専門家も交えて良いホールをつくりたいと考えている。

川口副委員長　　ホールの機能として一定程度のレベルを確保しつつ、ホール単独的な活用というよりは生涯学習のほか様々な活用ができるものが望まれている。これを追求すると、コスト面や建築そのものも変わってくる可能性もあるため、それも踏まえて、ぜひ将来に向けて検討していただきたい。

事務局　　整備はまだ時期が先であるため、今回の計画はプラン 1.0 としている。先程、ホールについて多くの意見が出ていることを川口副委員長が指摘されたが、当方としても想定以上に出ていると感じている。それだけ本事業に対して市民の関心が高まってきていると感じている。

生涯学習の一つの場としてのホールであるということには変わりがなく、基本的にはその認識で整備していく考えである。市内にプロフェッショナルに活動されている音楽家や芸術関係の方が多いいったことが、今回音楽ホールに関する意見が多く出てきたことの背景にあると考えている。

基本計画では、多面的な利用を可能とする必要があると考え、可変性の高い平土間を検討している。今後も、可変性も担保しながら、音響についても配慮した形でブラッシュアップしていく。現在市内の音楽活動されている方々とも連絡を取り始めており、今後意見交換を進めていく予定である。

国吉委員長　　音楽もクラシックからポップまで幅広く需要は多いが、全てをこのホールで担うのは厳しい。ただ鎌倉市全体として、民間施設も含め公共施設の今後の展開について示した上で、本事業で対応する内容を示す必要があるのではないか。ここではコミュニティ醸成に繋がる活動に使われることが想定されていると理解しているが、今回寄せられた要望に対する、別視点での整理もしていただきたい。

先の計画に大きな影響を及ぼす部分であるため、この点は意見を踏まえながら検討を続けていただきたい。

他に質問等がなければ質疑はここまでとする。

全委員　　(了承)

## (2) 鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画(案)の答申について

国吉委員長　　続いて、議題(2)「鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画(案)の答申について」に移る。

### 【鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画(案)の答申について説明】

答申については、当委員会の最終的なとりまとめである。これまでの議論を踏まえ、各委員の意見を反映しているものとなっている。こちらについていかがか。

全委員　　(了承)

国吉委員長                 それでは、意見等は無いようなので、質疑は以上とする。

## 7 その他

国吉委員長                 以上で本日の議題は全て終了とする。本日は残念ながら関根委員が来られなかったが、本日このような答申をまとめることができ非常に感謝する。

                                  その他、事務局から連絡があればお願いしたい。

事務局                         今後の計画策定に向けた予定と、今後の本委員会について説明する。市では本日の審議結果に基づく答申を受けたのち、鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画の策定に向けた事務を進める。策定後はパブリックコメントの結果とともに、ホームページにて作成した計画を公開予定である。

                                  また、鎌倉市本庁舎等整備委員会の開催に当たって、長きに渡り本当に感謝する。今回の計画はプラン1.0と定めており、この基本計画をベースに市民の方や利用団体、関係団体の方との意見交換を通じてよりブラッシュアップして行くという意味を込めてプラン1.0としている。その際の意見や反映にあたっては皆様の力をお借りするなど、ご協力をお願いしたい。

## 8 閉会

国吉委員長                 それでは、今回の答申で当委員会の開催は一区切りとなる。  
以上をもって、第17回鎌倉市本庁舎等整備委員会を閉会する。

以上